

令和8年度 学校経営計画

練馬区立北原小学校長 宮崎 晴美

【基本の方針】

本校の校章や校歌に込められた思いを受け、児童の健全な成長を保証し、学校に関わるすべての人々が誇りに思い、保護者・地域から信頼される学校を継承する。



1 目指す学校

(1) 目指す学校像

・ 喜びあふれる学校 ・ 安心できる学校 ・ 信頼される学校

(ア) 喜びあふれる学校(「わかる・できる」喜びを実感させる、活力ある学校)

- 主体的・対話的で深い学びを通じ、児童一人一人の確かな学力を保証する。
- 成就感・達成感・充実感・満足感を味わえる環境や仕組み(仕掛け)を醸成する。
- 教員が授業改善に飽くなき探究心をもち、互いに高め合う組織を構築する。

(イ) 安心できる学校(「安心・安全」で、一人一人を大切に作る温かい学校)

- 人権尊重の教育の充実を図り、いじめや差別のない学校を目指す。
- 教員と児童、児童相互の信頼関係を基盤に、豊かな人間性と居場所を育む。
- 教員のウェルビーイングを大切にし、心にゆとりをもって子供と向き合える環境を整える。

(ウ) 信頼される学校(「地域・家庭」と連携・協働し、共に歩む開かれた学校)

- 保護者や地域から信頼され、社会全体で子供の成長を支えるネットワークを構築する。
- 教員も外部との連携を通じて、多角的な視点から教育活動を展開する。
- 教員は24時間、365日 公務員としての自覚ある言動を心掛け、サービスの厳正を期する。

(2) 目指す児童像(教育目標) ◎は重点目標

○ 明るくたくましい子ども ◎ よく考える子ども ○ 思いやりのある子ども

(ア) 明るくたくましい子どもの育成

- 「自分自身の健全な成長と体力向上を考え実践できる子」の育成に向けた体育科授業、健康教育・食育の充実

(イ) よく考える子どもの育成(重点目標)

- 「主体的・対話的で深い学び」を実践し、思考力育成の充実
- 確かな学力の定着と向上(問題解決型学習、基礎・基本の定着・言語活動の重視)

(ウ) 思いやりのある子どもの育成

- 「人との関わりを大切にする子」の育成に向けた道徳教育の充実
- 「豊かな心を育む」異学年交流の充実

(3) 本校の特色を生かした学校経営

- 地域に根ざした学校づくりの実践
- 小中一貫教育の推進(外国語・英語教育・道徳教育の充実)
- やわらぎルームとの連携教育、幼・保・小連携教育の充実
- ICT の活用推進(デジタル教科書・一人一台タブレット端末・オンライン授業配信)
- キャリア教育の推進(キャリアパスポートの活用)

2 今年度の取り組み

(1) 教育活動の理念

学校経営の中心は、学年経営・学級経営にあり、その原点は授業にある。

(2) 理念実現のための方策

(ア) 児童主体の授業づくり（自己肯定感を育てる）

- 知的好奇心をゆさぶり、満足感・成就感のある授業づくり
- 「主体的・対話的で深い学び」による思考力・判断力・表現力を育てる授業づくり
- 問題解決型授業展開で、自らの成長を感じさせる授業づくり
- ICT 活用による、個別最適な学びの充実
- 道徳教育・英語教育 及び、探究的な学習の効果的実践

(イ) 生活指導の充実（「自分も他者も大切にできる」態度の育成）

- 安全教育の徹底：自転車安全教室(3年)の実施、セーフティ教室の充実 他
- 「あいさつ」の励行：いつでも・どこでも・誰とでも・笑顔で・明るく挨拶
- 生活指導全体会や校内(いじめ対策)委員会を通して児童理解と指導の共通化
- 防災教育の充実(避難訓練、区一斉防災訓練、「東京防災」の活用 等)
- SNSの活用等、情報モラル教育の充実

(ウ) 個を生かした指導

- 特別支援教育の充実：やわらぎルームとの情報共有、指導方法の共通化
- 教育相談活動の充実：一丸となった指導体制
- スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・巡回心理士・外部関係機関との連携
- 習熟度別少人数指導(算数)におけるきめ細かな指導体制
(高学年:4学級6展開 中学年:3学級5展開 低学年1学級2展開)

(エ) 授業を通して資質向上を図る教師

- 身だしなみ、言葉づかいの再確認(男女を問わず「さん」付けで呼ぶ)
- 校内研究の充実 及び 主幹教諭・主任教諭を中心とした OJT の推進、相互授業観察
- 道徳授業地区公開講座や学校公開における授業の充実
- 自己の専門性を磨く教師(区・都教育研究会等への参加)
- 週ごとの指導計画による見通しをもった授業計画と実践

(オ) 保護者や地域及び学校関係諸機関と連携した指導

- 学校公開(学校行事・授業参観・道徳授業地区公開講座・セーフティ教室等)の充実
- 教育活動の啓発(学校だより・ホームページの更新)
- 保護者会、個人面談等を通じた保護者との連携
- 「学校サポートチーム」(学校評議員、民生児童委員、民生委員ほか)との連携
- 学校司書の活用、稲荷山図書館と連携した読書活動の推進

(カ) 教職員の働き方改革

- 問題及び課題解決に向けた組織での対応による個への負担軽減
- 校務・組織の合理化による職務軽減及び「ライフワークバランス」の確立
- 週に1日、定時退勤日の推奨